

2025年1月8日（水）

老球の細道847号

### 江川嘉孝さんを偲んで

会津バスケットボール協会 室井 富仁

1964年東京五輪代表とモントリオール五輪代表コーチを経験した会津坂下町出身の江川嘉孝さんが先月末83歳で亡くなった。会津出身者としては唯一の五輪代表選手であり、五輪の選手とコーチを両方経験した日本バスケットボール界唯一の人物である。

江川さんは坂下一中から会津高校へ進み、途中から五輪選手になることを夢見て、当時高校日本一の中央大学付属杉並高校へ転校した。メキメキ頭角をあらわし高校日本一になり、その後明治大学へ進学しエースとして大学でも日本一を達成した。その活躍が認められ明治大学3年時に当時の日本代表監督吉井四郎氏の下で東京五輪選手として活躍した。卒業後は実業団の八幡製鉄（現日本製鉄）で活躍し（後にコーチ）、日本一のシューターとして君臨した。夢は必然、偶然には叶えられない。その輝かしい実績は下記の通りである。

#### 1・国際試合選手として

◆【「日本バスケット協会50年の歩みより」】

- ① 1963年 第4回世界選手権大会出場 (ブラジル)
- ② 1964年 第18回東京オリンピック出場 (東京)
- ③ 1965年 ユニバーシアード大会出場 (ハンガリー)
- ④ 1967年 第5回世界選手権大会出場 (ウルグアイ)
- ⑤ 1967年 ユニバーシアード大会出場 (東京)
- ⑥ 1965年 第3回アジア選手権大会 (マレーシア)
- ⑦ 1966年 第5回アジア大会 (タイ)
- ⑧ 1967年 第4回アジア選手権大会 (韓国)
- ⑨ 1969年 第5回アジア選手権大会 (タイ)

#### 2・国際試合コーチとして

- ① 1976年 第21回モントリオール五輪コーチ (カナダ)
- ② 1974年 第7回アジア大会コーチ
- ③ 1975年 第8回アジア選手権大会コーチ

#### 3・日本リーグ選手として

1967年（第1回）、68年（第2回）、69年（第3回）連続ベスト5、MVP、得点王。

早熟した果実は早く地面に落ち、大器は晩成する。幼少期にはすでに両親を亡くし、小学校の時は「結核」を患い、運動もろくにできない環境で育ったが、亡くなったお父さんの夢（五輪出場）を達成するために五輪代表を目指したという。大学時代の監督は江川さんを「一つのことに打ち込んだら、どんな小さなことでもおろそかにしない性格」と評する。

コロナの前から会津に来て高校生に色々な話をしたいと私に連絡をよこしてくれたが、その願いを果たせず逝ってしまった。大きな夢を抱かず、普通で満足し、とことん努力することがお伽話になってきている昨今、江川さんの話を皆に聞いてほしかった。合掌。